

アイ・メール

エラーメールの仕組み

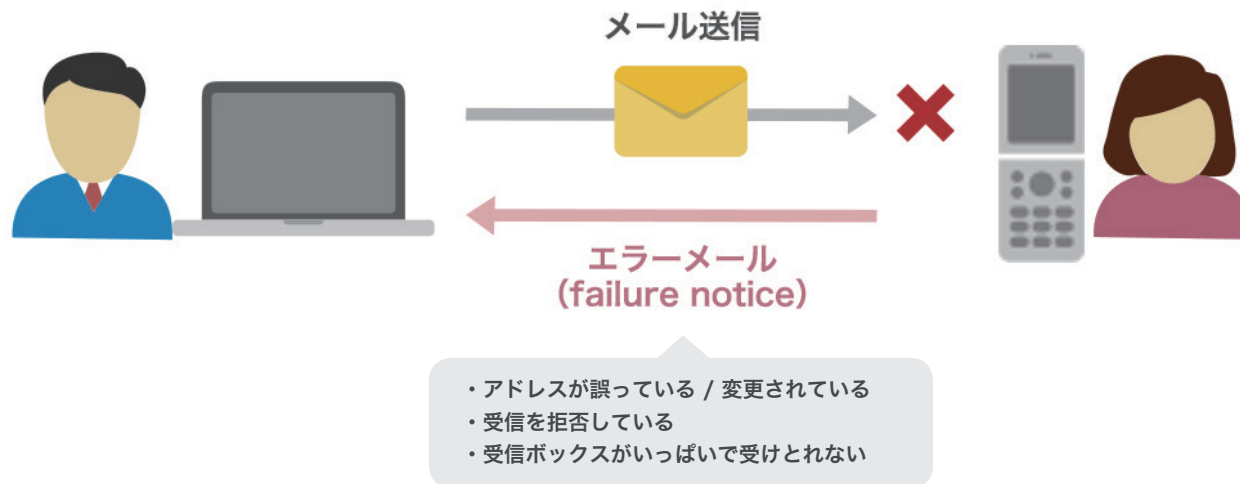
メールを確実に届けるための運用マニュアル②

エラーメールってなに？

普段、お使いになっている携帯電話や、Web メール (Yahoo! メール, Gmail) でメールを送ったら、

- Mail System Error - Returned Mail
- failure notice

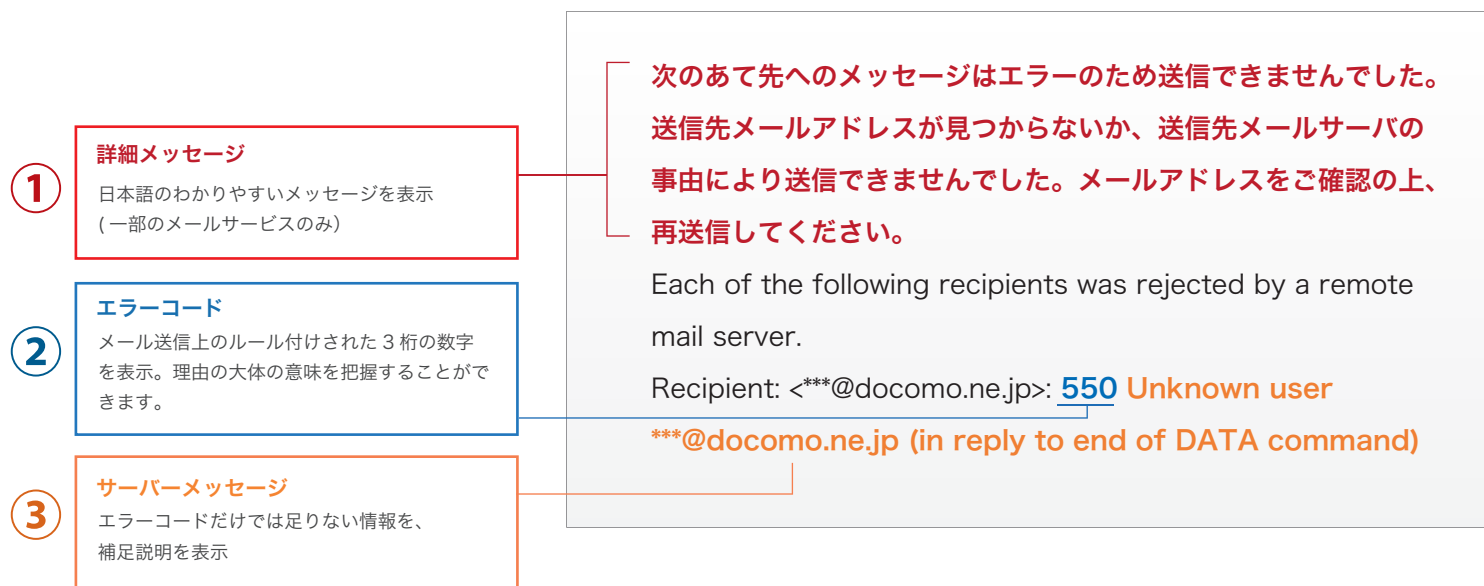
といったメールが返信されてきたことは、ありませんか？これが「エラーメール」と呼ばれる、「携帯を解約していた」「アドレスを変えていた」「拒否をしていた」など何らかの理由で送信できなかった場合に、返信されるメールです。返信されてくるメールに、なぜ送れなかったかの理由が記載されています。



エラーコードとは

エラーメールとなったものは、なぜ届かなかったのか「理由」があります。その理由を確認するものが、以下の3つです。

エラーメール例



これらのメッセージは、送り先のメールサーバ (docomo, Gmail, hotmail 等) が表示しています。そのため、メールサーバにより、それぞれ内容が異なります。ただし、どのメールサーバも、ルールを守ってメール運用をしています。例えば、青信号なら進め、赤信号なら止まれという「交通ルール」と同じなのです。メールでもエラーコードによって「550 ならメールアドレスがない」「421 ならサーバメンテナンス中」など共通認識を持って表示しているのです。

エラーコード対応表

エラーコードは、SMTP 応答コード（3桁の数字）の一種です。メールでよく見るエラーコードは、おおまかに分けると2分類あります。

4XX：一時的なエラー

サーバのメンテナンスや、お正月など混雑が予想される際は一時的に受け付けてくれない

421	宛先から拒否されました。
450	宛先のメールボックスが利用できません。
451	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。
452	送信先のシステム容量がいっぱいです。
453	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。

5XX：恒久的なエラー

メールアドレスが誤っている、メールボックス容量がいっぱいなど、対応をしないと解決できない

500	1行に対する文章が長すぎるため受け付けられません。
501	パラメータまたは引数の文法に誤りがあります。
503	コマンドの発行順序が間違っています。
504	コマンドのパラメータが実装されていません。
521	送信先のメールボックスがいっぱいです。
530	送信には暗号化が必要です。
550	送信先のメールアドレスがありません。
550 (rejection)	送信先から受信拒否を受けました。
551	送信先がありません。
552	送信先のメールボックスがいっぱい、またはシステムエラーが発生しています。
553	送信先のメールボックスが利用できません。
554	処理中にエラーが発生しました。送信先のプロバイダーにお問合せください。

どう運用すれば良いか？

エラーになっても構わないので、そのまま放っておいても…などと考えてはダメです。実は、携帯会社(キャリア)やプロバイダーでは、このエラーメール(特に550コード)を「何回も送ること」「大量に送ること」を厳しく制限しています。

存在しないメールアドレスに、何回も送信を続けていると…

配信しているメルマガ
自体の評価低下

コンテンツは
SPAMメールとみなされる



メールサーバの
ブラックリスト化

メルマガサービスの
利用を停止される



アイ・メールでは、最大3回のエラーメールがあった場合、自動で停止する機能を設けております。エラーメールへの再送はお控えいただくようお願いいたします。